



こんにちは。地球温暖化対策推進室です。今回は現在策定中の地球温暖化対策実行計画の策定状況についてご紹介します。

おさらい！地球温暖化対策実行計画とは？

町では昨年3月に「2050年CO2排出量実質ゼロ」を目指す「ゼロカーボンシマカワ」宣言を行いました。この実現のため、下川町の温室効果ガスの排出抑制を推進する総合的な計画が、現在策定中の地球温暖化対策実行計画（区域施策編）です。計画の概要については、ゼロカーボン通信VOL.7をご覧ください。



ゼロカーボン通信 VOL.7

目指す将来像として、「森と大地と人を守り育てるゼロカーボンシマカワ」を掲げ、その達成目標として、エネルギー面、産業面、暮らし面の3つの面から目標を設定しました。

また、目標達成のための取組方針も同時に策定し、CO2について、①これから出すCO2を実質ゼロまで減らす、②すでに大気中にあるCO2を除去する、③いったん除去・回収したCO2が再び大気中に戻っていかないよう、固定化する、の3つの方針を定め、2050年二酸化炭素排出実質マイナスとなる「カーボンネガティブ」の実現を目指すこととしています。

現在のCO2排出・吸収量の状況は？

では、現在の下川町のCO2の排出状況はどのような状態にあるのでしょうか。直近で計測した2021年度の状況では、CO2排出量が42,751tある

2050年「ゼロカーボンシマカワ」の目指す将来像を策定しました

温暖化対策実行計画の策定のためには、まずは2050年に下川町がどのような状態になっているのかを考えていくことが必要でした。そこで、SDGs推進町民会議や、ゼロカーボン勉強会などを開催しながら意見・アイデアを出し合い、2050年「ゼロカーボンシマカワ」の目指す将来像を策定しました。



のに対し、吸収量は25,644tあり、CO2収支（排出量－吸収量）は、17,087tのプラス（＝排出）となっています。

2050年までにこの17,087tを削減し、CO2収支を0にし（ゼロカーボン）、さらにそこからCO2を削減できると、吸収量が削

減量を上回る「カーボンネガティブ」の達成となります。

今後の流れ

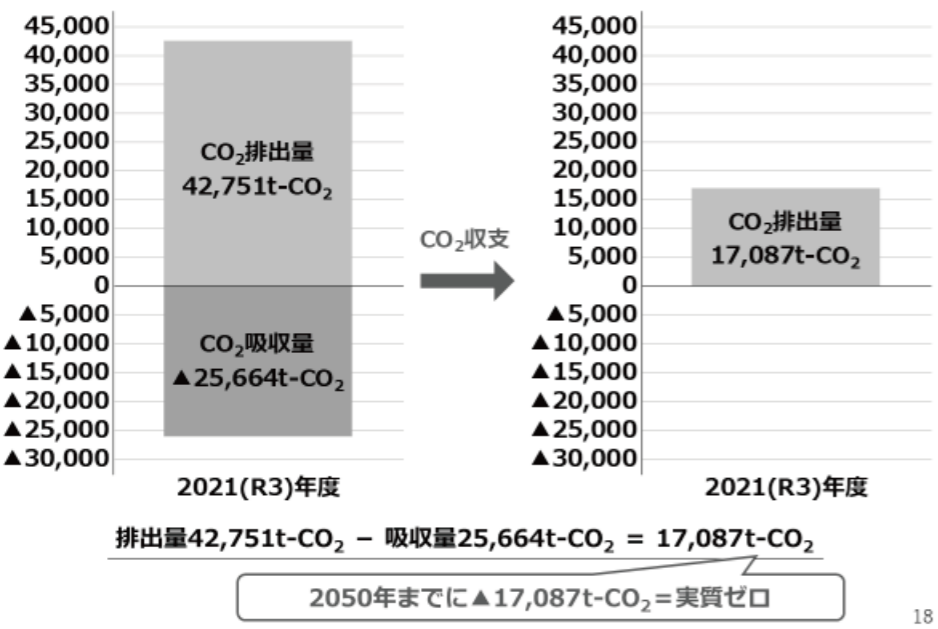
現在はこの17,087tを削減するための取組と、取組ごとの削減目標を検討しているところです。具体的には、2050年までの再生可

2050年「ゼロカーボンシマカワ」の実現に向けた取組の基本方針

- これから出すCO₂を実質ゼロまで減らす
省エネ、再エネ、CO₂を出さない移動手段、メタン削減 など
- すでに大気中にあるCO₂を除去する
森林整備の推進（森林のCO₂吸収） など
- いったん除去・回収したCO₂がふたたび大気中に戻っていかないように、固定化する
建築物などへの木材利用、炭を農地に埋める など

方針に基づく取組を推進し、2050年二酸化炭素排出実質マイナスとなる「カーボンネガティブ」の実現を目指します。
 ※カーボンネガティブとは、二酸化炭素を含む温室効果ガスの排出量よりも吸収量が多い状態を意味します。

下川町の温室効果ガス排出・吸収量の状況



能エネルギー（バイオマス等）の導入目標や各産業・家庭部門の取組目標などを設定していきます。その後、計画素案として公開し、町民の皆様にご意見を募集する予定です。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2050年「ゼロカーボンシマカワ」の目指す将来像

目指す将来像
 「森と大地と人を守り育てるゼロカーボンシマカワ」

将来像の達成目標

- 再生可能エネルギーによるエネルギー自給率100%
- 産業のゼロカーボン化とゼロカーボンに貢献する産業の発展
- CO2を出さない楽しく快適な暮らし